

科目名 (科目番号)	生活環境論実習 (062283)	教員名 縄井清志 有田真己 他	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割参照		単位数	2
			オフィスアワー			A303研究室(縄井)他	
授業概要	<p>本科目は、様々な障害を体験し障害者や高齢者と生活環境のミスマッチに気づき、さらに適合させる技術を身につけることを目的とする(シミュレーション学習)。具体的には、障害者・高齢者の生活している住居環境・地域環境について実際に模擬体験したり、車椅子を使用して住居環境、地域環境のバリアーを体験的に学習する。</p> <p>また、理学療法士が担当する代表的な疾患・障害の実践事例から、生活評価と生活環境調整案をグループ検討により作成し、住居環境の評価・方法・手順を検討する。</p>						
準備学習	毎回の授業について教科書を用い少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	講義内容のオリエンテーション	到達目標:本講義の概要,および各種疾患の生活環境へ介入する重要性が理解できる。 学習内容:本講義の特徴を説明し,各種疾患による障害と生活環境について学習する。				
	2・3	車いすについて	到達目標:車いす各部位の名称を覚え,採寸とシーティングおよびキャスター上げ技術を獲得する。 学習内容:各種車いすを使い各部位の役割と名称を覚え,身体採寸やシーティング,キャスター上げ技術等について体験学習する。				
	4	車いすの実技テスト	内容:車いす各部名称,採寸,シーティングの理解の確認と,車いす操作技術の確認を行う。				
	5・6 ・7	車いす体験と環境評価	到達目標:生活環境におけるバリアを理解し,評価することができる。 学習内容:車いす体験を通して,生活環境におけるバリアを体験し,評価する。				
	8・9	住宅評価と改修	到達目標:移動,入浴,排泄動作に関連した住宅改修のポイントをまとめ発表できる。 学習内容:移動・移乗,入浴,排泄動作について住宅改修のポイントを体験的に学習する。				
	10・11	高齢者の障害体験と福祉用具	到達目標:擬似体験を通して,高齢者・障害者の移動・移乗と住環境との関連を理解する。 学習内容:高齢者・障害者に関する擬似体験を行う。福祉用具の使い方を習得する。				
	12	福祉用具実技テスト	内容:福祉用具の適応と使用方法について,技術の確認を行う。				
	13	高齢者障害体験の発表	内容:高齢者疑似体験の発表を行う。				
	14	症例検討会(環境調整)	到達目標:紙上患者のニーズに合わせた改修計画を総合的に検討することができる。 学習内容:紙上患者に対する環境調節案を検討する。紙面上の検討だけでなく,シミュレーターを用いて,現実的な改修案を作成する。				
	15	症例検討会発表・総括	到達目標:具体的かつ総合的な改修計画が立案できる。 学習内容:紙上患者に対する改修計画を発表し,議論する。				
成績評価の方法・基準	実技試験(4回・12回:50%)、口頭発表(13回・15回:30%)、レポート(5-7回:20%) 口頭発表は、規定の評価基準に基づいて複数教員にて評定する						
教科書	生活環境学テキスト	監修 細田多穂			南江堂		
参考図書	生活環境論	木村哲彦 監修			医歯薬出版		
教員からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>必ず動きやすい服装できてください。また、ピアスや指輪、ネックレス等のアクセサリは身に付けないでください。</li> <li>授業の進行度合いによって授業内容を変更します</li> </ul>						